

③新たな作目や品種の特徴を活かした需要拡大

和歌山県北山村産柑橘系果実「じゃばら」を醗酵・熟成した 健康補助食品の製造・販売事業

農薬の使用量を削減して栽培する柑橘系果実「じゃばら」の果皮を醗酵・熟成及びペースト化した健康補助食品の製造及び販路拡大に取り組む。

➤ 連携体

農林漁業者

北山村じゃばら生産協同組合(法人番号 9170005006050)(果樹作農業)

柑橘系果実「じゃばら」の農薬使用量を削減した栽培に取り組み、未利用資源である果皮を活用することで収益の増加を図る。

中小企業者

日新蜂蜜株式会社(法人番号 9200001014532)(食料品製造業)

柑橘系果実「じゃばら」の果皮を醗酵・熟成及びペースト化した健康補助食品を製造し、新たな市場を開拓する。

連携参加者

学校法人 鈴鹿医療科学大学(大学)

醗酵・熟成した「じゃばら」の成分分析・有効性等に関する共同研究を行う。

サポート機関等

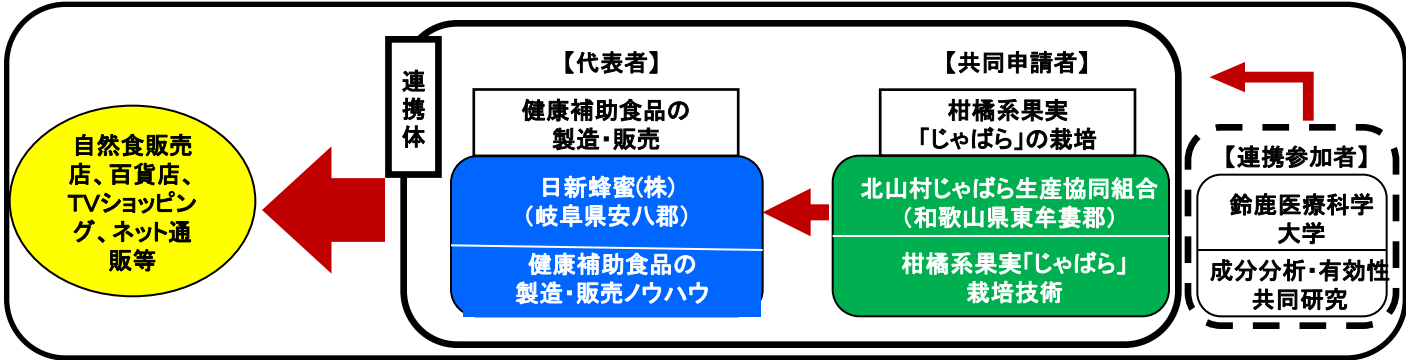
(独)中小企業基盤整備機構 中部本部

➤ 連携の経緯

岐阜県安八郡で蜂蜜を製造する日新蜂蜜(株)は、新たな自社ブランド商品として機能性醗酵食品の開発を進める中、抗アレルギー作用が報告される「ナリルチン」を豊富に含む柑橘系果実「じゃばら」に着目。和歌山県東牟婁郡で柑橘系果実「じゃばら」の栽培を行う北山村じゃばら生産協同組合は、北山村産「じゃばら」のブランド化・知名度向上を図るために発信力・販売力を高めていく必要があると考えていた。両者で連携し、柑橘系果実「じゃばら」を活用した健康補助食品の製造・販売を行うこととなった。

➤ 連携に当たっての課題や工夫等

北山村じゃばら生産協同組合は、新たに残留農薬基準を設け、農薬使用量を削減した柑橘系果実「じゃばら」の栽培に取り組み、より安全性の高い「じゃばら」を生産する。日新蜂蜜(株)は、柑橘系果実「じゃばら」の果皮を活用し、醗酵・熟成及びペースト化による健康補助食品を新たに製造することに取り組み、新たな自社ブランドの確立と販路開拓を行う。



➤ 連携による効果

農林漁業者

5年で240万円の売上高増加による収益力の向上、作付面積の増加

農薬使用量を削減した柑橘系果実「じゃばら」を栽培することで売上高増加と収益力の向上が確保される。

中小企業者

5年で5,000万円の売上高増加、広域連携による地域の活性化

柑橘系果実「じゃばら」を活用した健康補助食品を製造・販売することで新たな市場を開拓。新たな地域ブランドの構築が期待される。

➤ 代表企業等の連絡先

企業等名：日新蜂蜜株式会社

T E L : 0584-64-4111

E - m a i l : emi.watanabe@nisshin-honey.co.jp

所在地：岐阜県安八郡安八町牧3133番1

F A X : 0584-64-5829

ホームページ：http://nisshin-honey.co.jp/